

自治協ニュース

第0109増刊号
発行者
八本松住民自治協議会
R02.03.12

八本松西地区の災害復旧工事

山地・橋・ため池・林道の復旧工事 進捗状況と今後の見通し

林野庁
東広島市

3月1日（日）、林野庁山地災害復旧対策室と東広島市建設部は、八本松西地区の住民の方約40名の方の参加を得て、宗吉第一集会所で「西日本豪雨災害復旧工事」の進捗状況と今後の見通しについて説明会を開催した。

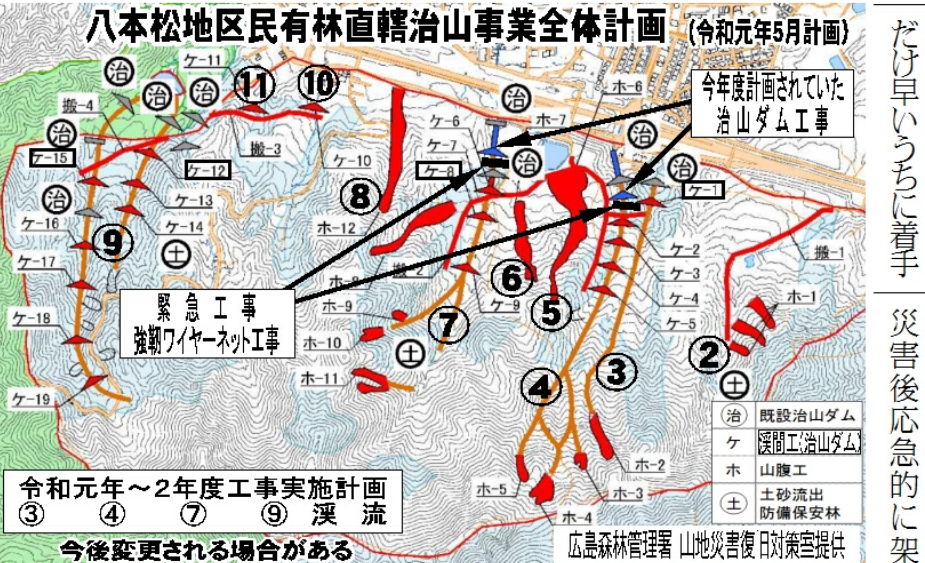


治山事業の進捗状況を説明する津脇氏

治山事業（八本松地区民有林直轄治山事業）による復旧工事については、曾場ヶ城山北斜面で土砂災害を引き起こした10カ所の荒廃地を10年間で復旧させる治山事業が計画され、本年度は溝迫交差点に大規模な土石流を引き起こした八本松西

地区にある④・⑦の渓流に治山ダムを設置する工事が実施されることになっていた。しかし、「今年度当初から工事の入札不調が続き、④・⑦の渓流の工事が予定どおりできない状況となった。このため、治山ダム堰堤が完成するまで、暫定的に土石流の流下を防止する緊急工事（通称・強靱ワイヤーネット工）を追加し、これを今年の梅雨時期までに完成させる計画」と林野庁山地災害復旧対策室の津脇室長は説明した。

また、「令和2年度の工事については遅れている④・⑦の治山ダム等（本工事）に加え、③溪流と⑨の記念池にかかる渓流に3基の治山ダム工事を計画している。なお、⑩・⑪溪流等その他の渓流についてもできるだけ早いうちに着手し、住民の皆さんの安全が図れるよう積極的に工事を進めたい」と説明した。東広島市建設部からは、「今後、事業の遅れを取り戻すべく最大限努力する。特に八本松西地域では（1）



令和元年～2年度工事実施計画
③ ④ ⑦ ⑨ 溪流
今後変更される場合がある

「宗吉政光線」、（2）土石流により土砂等が滞留している記念池と大谷原池の復旧工事、（3）がけ崩れにより寸断された大山林道（大山線）の復旧工事を中心に、令和2年度から3年度にかけて実施する計画」と各担当課員が説明した。最後に、参加者から、「災害当時団地内の路上を流下した⑩⑪溪流の土石流は大変な恐怖だった。この溪流が降雨時に

東広島市の災害復旧進捗状況を説明する永岡氏

路上に氾濫しない対応を求めるとの発言があった。説明会終了後、関係者は氾濫を起し現場を確認し、市が対応を検討することとなった。

「令和2年度の安全が図れるよう積極的に工事を進めたい」と説明した。東広島市建設部からは、「今後、事業の遅れを取り戻すべく最大限努力する。特に八本松西地域では（1）



こちらのサイトで八本松住民自治協議会の情報が閲覧できます。
<http://higashihiroshima.genki365.net>